授業科目名・形態	医療福祉総合　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章　平林朋子　松本和剛	実務経験の有無	有	開講期	4年前･後期
科目ナンバリング	W5-4012				

【授業の主題】

社会福祉学を学ぶ集大成となる科目であり､医療や福祉の現場で働く専門職として必要な総合的な知識を習得する。学生自らがこれまでの学習を振り返り、自己の学習成果を確認し、理解不十分な点や疑問点を見出すことで、専門職として必要な総合力を身につけることを目的とする。

【到達目標】

1．専門分野ごとの授業を通して、福祉専門職の基礎部分について理解することができる。
2．医療と福祉における包括的な支援と多職種連携について理解することができる。
3．現代社会における様々な問題に対して福祉の視点で取り組むことができる。
4．卒業試験及び社会福祉士国家試験に合格する。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション、生活保護制度、小テスト
第 2 回　権利擁護を支える法制度①
第 3 回　貧困に対する支援①
第 4 回　貧困に対する支援②、小テスト
第 5 回　ソーシャルワークの理論と方法①
第 6 回　ソーシャルワークの理論と方法②
第 7 回　ソーシャルワークの理論と方法（専門）①
第 8 回　ソーシャルワークの理論と方法（専門）②、小テスト
第 9 回　保健医療と福祉①
第 10 回　保健医療と福祉②
第 11 回　社会保障①
第 12 回　総合問題①、小テスト
第 13 回　総合問題②、小テスト
第 14 回　総合問題③、小テスト
第 15 回　総合問題④、小テスト
第 16 回　社会福祉調査の基礎
第 17 回　高齢者福祉
第 18 回　障害者福祉
第 19 回　児童・家庭福祉、小テスト
第 20 回　地域福祉と包括的支援体制
第 21 回　ソーシャルワークの基盤と専門職
第 22 回　ソーシャルワークの理論と方法(専門)
第 23 回　社会福祉の原理と政策、小テスト
第 24 回　刑事司法と福祉①
第 25 回　刑事司法と福祉②
第 26 回　福祉経営論③
第 27 回　福祉経営論④、小テスト
第 28 回　総合問題①
第 29 回　総合問題②
第 30 回　総合問題③、小テスト

【授業実施方法】

講義形式

【事前・事後学習】

毎回、該当科目のテキストを中心に 2 時間の予習及び講義内容を踏まえた 2 時間の復習を行うこと。社会福祉士国家試験及び精神保健福祉士必須科目と密接に関わっているので、3 年次まで開講された内容を復習してほしい。

【主な関連する科目】

福祉に関する基礎及び専門分野の科目

【教科書等】

基礎科目及び専門科目に使用した教科書、適宜資料配布

【参考文献】

社会福祉士国家試験過去問集

【成績評価方法】

授業態度等（10%）、提出物等（30%）、小テスト（60%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

高齢者施設におけるケアマネジメント業務、福祉事務所におけるソーシャルワーク業務、成年後見人として活動した経験あり。実務経験から得たソーシャルワークに関する知識や技術等を学生に伝え、実践的な授業を展開したい。

【学生へのメッセージ】

卒業試験及び社会福祉士国家試験に合格するためには日々の学習の積み重ねが大事。予習及び復習をしっかり行い、効果的な学習に心掛けてほしい。